

R3年2月13日(土)

テーマ：看護職の働き方改革 ～「こんな職場で働きたい!!」と思ってもらうために～

講師：小村由香先生 日本看護協会 労働政策部 看護労働課 課長

場所：看護研修センター

参加者：22名

ねらい 「働き方関連法」の成立に伴い、看護管理者に対して、医療・看護の現状を伝え、「看護職の多様な働き方」「働き続けられる職場環境の整備」など、働き方改革推進の周知を図る。

看護職の働き方改革が目指すもの ⇒ 質の高い看護ケアの提供と仕事への誇り

#### 【働き方改革の基本的な考え方】

- 個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で「選択」し、それぞれが持つ能力を存分に発揮できる環境づくりを行うための改革
- 働きすぎを防ぎ、健康を守り、多様な「ワーク・ライフ・バランス」を実現



安心・安全な医療・看護提供のための労働環境整備

- ・持続可能な働き方モデルの構築
- ・健康な職場（ヘルシーワークプレイス）づくり
- ・業務環境の整備
- ・都道府県ナースセンター機能の充実と発揮



グループワークでは、自部署の取り組みや課題について話し合いました。

R3年2月20日(土)

テーマ：人材育成 部下ができれば、身につけたい指導術 ～新人看護師編：成長を促す指導法を身につける～

講師：名越民江先生 東京医療保健大学大学院和歌山看護学研究科 包括ケアマネジメント学領域 教授

場所：看護研修センター

参加者：27名

ねらい 部下の特徴を知り、効果的な関わりや指導術を身につけることで、より効果的な人材育成につなげる。



・コロナ禍にあって、令和3年3月の卒業生が遭遇した臨地実習は？ ⇒ ほとんど臨地実習に行けなかった。例年と違う状況の新人看護師。 どう対応するか??



★臨地実習でしか経験できない对患者、対看護師、対医療者とのコミュニケーションをとる経験ができていない。 ⇒ 臨地実習でしか得られない、その場の状況に応じた判断や、とるべき行動を選ぶのに、例年より時間を要するかもしれません。

グループワークでは、現状の指導体制等に関しての課題を出し合い、解決に向けて話し合った。